



## 平成17年2月期第1四半期業績の概況(連結)

平成16年6月30日

上場会社名 株式会社ダイセキ  
(URL <http://www.daiseki.co.jp/>)

(コード番号9793 東証・名証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊藤 博之  
責任者役職・氏名 代表取締役副社長 柱 秀貴

(TEL: (052) 611-6322)

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

第1四半期の業績に関しましては、監査法人による監査を受けておりません。

なお、第1四半期業績(連結)につきましては、今回が初めての算出・公表となるため前年同期との業績比較はしておりません。

### 2. 平成17年2月期第1四半期業績の概況(平成16年3月1日～平成16年5月31日)

#### 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成17年2月期第1四半期	4,552 (-)	789 (-)	792 (-)	476 (-)
平成16年2月期第1四半期	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(参考)平成16年2月期	16,949	2,683	2,695	1,437

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
平成17年2月期第1四半期	21 36	-
平成16年2月期第1四半期	-	-
(参考)平成16年2月期	62 51	-

(注) 四半期業績(連結)の開示は、当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績の記載並びに比較は行っておりません。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景とした株価の回復、堅調な外需にも支えられた活発な工業生産等、明るさが徐々にではありますが増してきた状況でありました。

当社グループにおいても、昨年本格稼働をはじめた関西事業所も順調に業績を拡大し、また子会社の株式会社ダイセキ環境ソリューションの手がける土壌汚染の調査・分析・処理事業も大幅に拡大するなど、業績は堅調に推移いたしました。また、設備投資においても6月には株式会社ダイセキ環境ソリューションの名古屋リサイクルセンターが完成・稼働を開始、九州事業所においては新水処理工場を今年8月完成の目処で、工事を順調に進めております。

こうした施策により、第1四半期の業績につきましては、売上・利益とも計画を上回り推移いたしました。

### 3. 平成17年2月期の業績予想（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

第2四半期以降の業績予想に関しましては、外部環境においても特に大きく業績予想と乖離する状況にはなく、堅調に推移するものと思われれます。したがって、平成16年4月23日に発表いたしました中間期ならびに通期の業績予想に変更はありません。

平成17年2月期の業績予想(連結)（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	9,038	1,531	865
通期	18,700	3,130	1,750

(参考) 1株当り予想当期純利益(通期) 76円54銭